

社会人常識マナー検定試験実施要項

(平30年4月改正)

社会人常識マナー検定試験規則第9条の規定による詳細を次のとおり定める。

- 受験資格 男女の別，年齢，学歴，国籍等の制限なく誰でも受けられる。
- 申込方法 協会ホームページの申込サイト (<http://app.zenkei.or.jp/>) にアクセスし，メールアドレスを登録し，マイページにログインするためのIDとパスワードを受け取る。
マイページの検定実施一覧から申し込みを行う。申し込み後，受験料の請求書が発行されるのでコンビニエンスストア，ペイジー（ATMおよびネットバンキング），電子マネー（Edy, Suica）のいずれかで受験料を支払う。受験票はマイページから印刷し試験当日に持参する。2つの級を受験することもできる。
- 受験料
- | | | | |
|----|--------|----|--------|
| 1級 | 4,200円 | 3級 | 2,200円 |
| 2級 | 2,700円 | | |
- 試験時間 試験時間は試験規則第5条を適用するものとする。開始時間は受験票に記載する。
- 合格発表 試験日から1か月以内にインターネット上のマイページで閲覧できる。
※試験会場の学生，生徒の場合，各受付校で発表する。

社会人常識マナー検定試験問題出題範囲

(平成28年4月改正)

社会人常識マナー検定試験問題は，この基準により作成する。

3 級

社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し，初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び，社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力を習得している。

2 級

企業・社会のしくみと一般的な社会常識を理解し，仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを身につけ，自ら築いた人間関係を良好に保つために必要なコミュニケーション能力を習得している。

1 級

企業・社会のしくみと幅広い社会常識を十分に理解し，目標達成のために自ら率先して高度な業務を処理できる知識やビジネスマナーを活用し，後輩指導・グループをまとめるリーダーシップ・トラブル対応などさまざまなビジネス場面で発揮できるコミュニケーション能力を習得している。

各級の出題範囲は次の社会人常識マナー検定試験問題出題範囲とする。ただし，下級の範囲を包含し，同一項目，同一範囲については級の上昇に応じて問題内容が高度化するものとする。

試験の形式は，3・2級はマークシートを使用した多肢選択式，1級は記述式。